

第2回芦屋市市民参画協働推進会議で出された意見と対応

令和元年11月8日（金）開催

1 議題

第3次芦屋市市民参画協働推進計画素案について

2 推進会議で出た意見

項目	内容	対応
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○市民協働はプロセスの方が大事である。 ○計画は作った時から古くなるので、絶えず変わっていく、新たなことを試みる裁量が必要である。 	プロセスに重きを置き、文言を再考する。
現状・課題及び方向性、目標	<ul style="list-style-type: none"> ○コーディネーターに対しての支援がない現状がある。 	「コーディネーターの活動支援が必要」を追加する。
施策の体系	<p>【場づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公園や集会所などエリア間格差がある。 ○個人の家開き・住み開きみたいなかたちもいいのではないか。 	「環境づくり」を追加する。
	<p>【人づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域サポーターにどれだけの市民が魅力を感じるか。 ○その事例に関わった人が他の地域に行き行って教えることも大切なのではないか。 	地域サポーターなどの活動支援や専門的人材の活用の検討などを追加する。
	<p>【市民参画・協働促進に向けたマネジメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域にいるいろいろな専門職をネットワークで結んでマネジメントすることが今後必要となる。 ○市民参画・協働マネジメントという言葉を加えてはどうか。 ○市民提案型事業補助金がどう使われて、その効果はなど分析がないといけない。 ○自治体が課題情報を、市民に出し市民に対応してもらい、公助の部分をしっかり作るというアクションが取れる。 ○どう稼ぐかということも考えていかないといいけない。コミュニティビジネスとかソーシャルビジネスをどう位置づけ 	テーマ4「活動促進」を「市民参画・協働促進に向けたマネジメント」に変更し、その内容を追加する。

	<p>るか。</p> <p>○各エリアで芽吹きを創生できるような可能性のある活動があるか，調査し，条件や環境を整えることが大事。</p>	
市民参画・協働の取組事例	<p>○市民活動の事例が書いてあるが，やり方がわかる手順書・市民活動をする人のためのレシピを載せてはどうか。</p> <p>○市民参画・協働の必要性に関して具体性を持たせて，取組を促進するレシピを作る。その作業そのものが計画に入ってくるととても説得力がある。</p> <p>○自分達ならどういう市民活動を作りますかというページがあるとより参画しやすくなる。</p>	<p>レシピは，フォームを含め今後作り上げていくこととする。</p> <p>「あなたが取り組んだ市民参画・協働の事例」のスペースをつくる。</p>
計画の進行管理	<p>○行政の関わり方が具体的に見えてくるようにしっかり書き込んでほしい。</p>	<p>文言を再考する。</p>